

平成 28 年度 研究成果報告書  
Research Achievement Report FY2016

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ・アメリカ II 講座 教授
氏名 Name	平田 恵津子
専門分野 Academic Field	ブラジル近・現代文学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	日系ブラジル人を巡る文学的表象に関する研究
<p>(1) 科学研究「日系ブラジル人の記憶と創造に関する研究」(平成 27~29 年度)の最終年度となる今年度は、以下の方向性から「日系ブラジル文学」の可能性について検討し、研究の総括に取り組んだ。</p> <p>① 日系ブラジル人によって創作された作品群のブラジル文学における位置づけを試みた。</p> <p>② 「日系ブラジル人初の本格的な小説」と評された日系 3 世のラウラ・ホンダ・ハセガワの小説 <i>Sonhos Bloqueados</i> (1991 年) を取り上げ、語り手のキミコをはじめとするさまざまな女性登場人物に焦点をあて、ブラジルでエスニック・マイノリティーとして、また、女性として生きる彼女たちの日常がどのように描かれているか検討した。</p> <p>③ 2011 年、ブラジル出版界において最も権威ある賞として知られるジャブチ賞小説部門で受賞した日系三世オスカル・ナカザトの <i>Nihonjin</i> について先行研究を収集し分析した。</p> <p>上記の成果を、平成 30 年 3 月 24 日、京都外国語大学にて開催された日本ポルトガルブラジル学会関西西部会において「日系ブラジル文学：ラウラ・ホンダ・ハセガワの <i>Sonhos Bloqueados</i> を読む」というタイトルで発表した。</p> <p>(2) 近年、評価が高まりつつあるブラジル人作家ムリロ・ルビアン<small>（注）</small>の短篇小説“A fila”（「行列」）を翻訳した。（『ブラジル研究』第 14 号、平成 30 年 3 月末刊行予定）</p>	